

校歌の成り立ちについて

川口 澄

<経緯>

平成25年2月中旬頃、校歌制定委員会より歌詞の最終稿が届き作曲を開始しました。3月上旬にデモCDを完成。その後、4月上旬の開校式典や入学式に向けて、最終的なレコーディング（ボーカル、コーラス、ドラム、ベース、ピアノ、シンセサイザー、ギター、パーカッション）とCD制作を行いました。CDにはバンドバージョン、ピアノバージョン、オルゴールバージョン、フルートバージョンなど10曲ほど編曲・収録し、様々な用途で活用できるようにしています。7月下旬には本校教職員による合唱バージョンを録音しました。

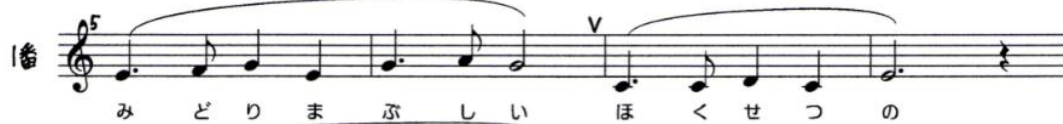
小学部から高等部の児童・生徒たちが“歌いやすい・覚えやすい・演奏しやすい”校歌になるよう心がけて音楽制作しました。

<楽曲解説>

1. 冒頭のリズムは、子どもたちが新しい学校で楽しく過ごす様子（スキップするリズム）を表現しています。



2. 主旋律（5小節目～）は本校から望む生駒や北摂の“山並み”を表現しました。



3. 15～16小節目は上行型のメロディーにすることで“夢や目標、未来に向かって一歩ずつステップアップしていこう”といった子どもたちへの願いを込めています。目標や夢に向かうように階段を一歩ずつ上る様子（15小節目）と最高音（16小節1拍目）に達した後、また次に向かって歩んでいく様子（16小節目2～3拍目）を音型にしています。



4. 歌いやすく覚えやすいメロディーにするため、隣接する音と音を繋ぎ合わせる“順次進行”を意識して楽曲全体を作曲しました。

5. ピアノ伴奏は分散和音にすることで歌詞の“淀の川”を表現しています。

6. サビの17小節目～は2/4拍子と4分休符を挿入することでブレスをしっかりと
り、学校名を元気に歌える工夫をしています。2回繰り返し歌う「せつつ」「せつつ」
の旋律はどちらも上行型にすることで、本校で過ごす多くの可能性を持った子どもたち
が将来へ飛躍するよう願いを込めています。



7. 子どもたちや教員が演奏しやすいようハ長調で作曲しています。

<校歌メロディー楽譜>

2013.4.1

大阪府立摂津支援学校 校歌

作詞 校歌制定委員会
作曲 川口 澄

♩ = 110

1
みどりまぶしいほくせつの
だいちにたたずむまなびやに
きらめくえがおみんなのげんき
わがせつつせつつしえんがっこう

2番
ながれゆたかなよどのかわ
みずとりとびたつおおそらへ
きぼうをむねにのぼそうちから
わがせつつせつつしえんがっこう

3番
そよぶくかぜにつつまれて
こころとこころをつなげよう
あかるくつよくみらいにむかおうわがせつつ
せつつしえんがっこうわがせつつせつつしえんがっこう